

大型クラゲの出現状況

(平成 23 年 7 月下旬現在)

(独) 水産総合研究センター及び関係機関が行った調査によると、大型クラゲの出現量は依然として少ない状況で推移しており、日本周辺水域への大量出現の可能性は低いと予想されています。

1 大型クラゲの出現状況

- ・ 日本ー中国間を航行する国際フェリーを使った目視調査により、7月17日と19日、中国・青島沖の黄海中央海域で少数の大型クラゲを確認しました。
- ・ 7月15日～25日の長崎丸による東シナ海韓国 EEZ 海域調査では、済州島の南で3個体の大型クラゲが確認されました。
- ・ 7月13日～22日の東シナ海大型クラゲ分布調査では、大型クラゲは確認されませんでした。
- ・ 対馬近海ー山陰西部海域では、7月下旬に日本海沿岸関係県の調査船及び民間船、並びに日本-韓国間の国際フェリーで行った調査でも、大型クラゲは出現していません。

2 大型クラゲの出現予測について

- ・ 中国・黄海中央部の大型クラゲ群は8月末まで黄海内部に滞留し、日本周辺水域への可能性は低いと思われます。

資料：(独) 水産総合研究センターのホームページ

(<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/index.html>)

(http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/Kurage/kurage_hp23/iseichosa2011.html)

担当 秋田県農林水産技術センター
水産振興センター

海洋資源部 高田

電話 0185-27-3003

Fax 0185-27-3004